

「仕事」って 何だと思えますか？

ある障害児デイサービスの仕事に携わる若者から、次のような話を聞いた。

小学校低学年の子どもと冗談まじりで会話していたら、「お父さんは朝仕事に行くのに、〇〇さんはどうして仕事してないの？」と急に話を振られ、真面目に対処できずに応じてしまったとか。

彼に「阿部さんは、仕事って何だと思えますか？」と尋ねられたが、子どもが解るように簡潔・明瞭な説明は浮かばなかった。

後で考えてみると、子どもにすれば放課後にデイサービスで数時間一緒に過ごす彼は、遊び仲間かお兄さん以外の何者でもないだろうから、つい疑問を率直に口にしたのでないかと思う。

子どもは遊びの中で実体験することで色んなことを自らの力で学んで行くだけに、子どもと遊ぶのは素敵な仕事をしていると思うのだが…。

だが、彼が「みんなと遊ぶのも僕の仕事だよ」と言っても、恐らく子どもの仕事というもののイメージへの答えにはならなかっただろうと思う。

自分も重症児の療育の仕事に就いた頃、国立施設なので職員の給与は国の歳費だけに、「毎日子どもと遊んで給与を貰えるなんて、いいこと！税金の無駄使いをするなよ！」と、事務職の数人から随分皮肉を言われたことを思い出す。

改めて「仕事」って何だろうと思い、しかも小学校低学年の子どもにどう話せばいいのかと考え込んでしまった。

一般的には、大人になれば仕事に就き、「仕事とは給与を貰うためにすることであり、給与とは生活のために必要なお金のこと」ということになるのだろう。

給与は英語でサラリー (salary) だが、サラリーは塩 (salt) を語源とする言葉で、古代から塩は人間の生存に必須な栄養成分 (塩化ナトリウム) を含むものだが、中々手に入らないために仕事する (働く) ことでその報酬として塩を貰ったことから、現代でも給与のことをサラリーと云い、サラリー (給与) を得るために働く人がサラリーマン (salaryman) と言うことは、ご存じの通り。

好きなことをして給与を貰えるのは誰もが最も望む仕事であり、また、今の就職難の世相から云えば、彼は自分の好きな、やりたい仕事、喜びを感じる仕事をしているのだから、仕事に恵まれた若者の一人と云える。

その彼に、子どもから「どうして仕事しないの？」の問いかけ…。

さて、人間にとって「仕事」ってどう説明すればいいのか、ヒントをお聞かせ下さい。